

市の財政状況 令和4年度（令和5年3月末）

問 財政課

一般会計の状況

令和4年度の一般会計の予算については、当初予算534億円から、11回の補正を行い、最終予算額は622億2,724万円となりました。

歳入では、市の基幹財源である市税は、コロナ禍において低迷していましたが、個人市民税、法人市民税、固定資産税のいずれについても増収の見込みです。

歳出では、青梅駅前地区市街地再開発事業にかかる補助、下水道事業への繰出や市立総合病院の建て替えなどに伴う病院事業への繰出などが増加しています。

引き続き、事業の見直しによる経費削減とともに、既存の財源の確保や新たな財源の獲得に努めていきます。

その他の会計の状況

☆モーターボート競走事業会計

全国発売競走の「プレミアムGIヤングダービー競走」を開催するなど、電話投票を中心に堅調な売上を維持しました。

この結果、令和4年度も一般会計に繰り出しを行うことができました。

今後も収益金の確保に向けて、全国発売競走の誘致等売上向上策に取り組んでいきます。



△ボートレース多摩川

☆病院事業会計

青梅市立総合病院は、市が開設する公立病院です。西多摩地域の中核病院としての役割、特に急性期医療を中心とした自治体病院の使命を果たすように努めています。

令和4年度総合病院利用状況

区分	患者数	
	延べ数	1日平均
入院	11万9,417人 (11万9,036人)	327人 (326人)
外来	26万6,191人 (26万1,961人)	1,095人 (1,083人)

※（ ）内は前年度数値

市有財産の状況

市は、公園や学校など、いろいろな財産を持っています。

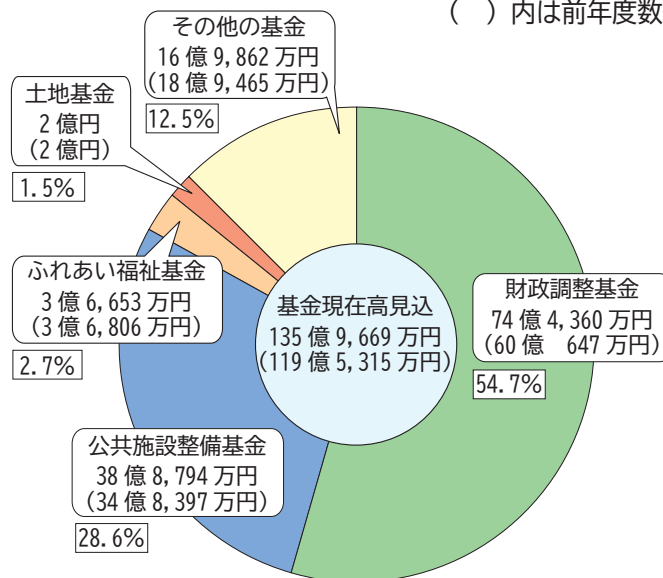
▷土地…307万3,548㎡

▷建物… 35万8,539㎡

▷基金…基金には、公共施設の整備などの特定の目的で資金を積み立てる特定目的基金と、貸付等のために定額の資金を運用する定額運用基金があります。家計でたとえ「預金」にあたります。

基金の令和4年度末現在高見込み

()内は前年度数値



市民1人当たり10.5万円
(9.0万円)

※市民1人当たりの金額は、令和5年4月1日現在の人口をもとに計算しています。(構成比は端数調整しています)

令和4年度予算執行状況

令和4年度は、一般会計のほか、特定の事業を行うために、3つの特別会計、下水道事業会計、モーターボート競走事業会計および病院事業会計を設けてそれぞれ経理を行いました。

各会計の令和5年3月31日現在の執行状況は、次のとおりです。

一般会計および特別会計の収入額と支出額の確定は5月末日となります。決算の内容は、広報おうめ12月15日号でお知らせします。

令和4年度末各会計予算現額および3月末現在の執行状況

区分	最終予算現額	収入率 (歳入)	執行率 (歳出)	
一般会計	640億6,340万円	94.5%	85.6%	
特別会計	国民健康保険会計	149億7,245万円	90.5%	90.5%
	後期高齢者医療会計	36億9,714万円	98.8%	99.4%
	介護保険会計	109億7,213万円	96.6%	87.9%
下水道事業会計	収益的収支	39億6,901万円	98.3%	97.8%
	資本的収入	10億8,301万円	64.0%	-
	資本的支出	23億2,379万円	-	81.4%
モーターボート競走事業会計	収益的収支	775億 356万円	98.2%	95.5%
	資本的収入	0万円	0.0%	-
	資本的支出	9,985万円	-	90.9%
病院事業会計	収益的収支	184億2,328万円	101.6%	97.7%
	資本的収入	54億1,880万円	98.4%	-
	資本的支出	66億1,941万円	-	97.0%

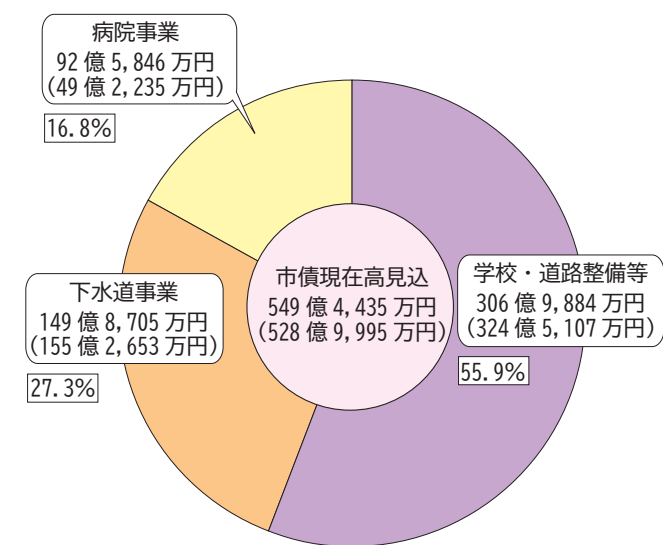
※最終予算現額には、前年度からの繰越額を含みます。

市債の状況

市債には、公共施設の建設や整備に充てるためや、税収等の不足を補うためのものがあり、いずれも国等から長期的に借入れ、償還しています。家計でたとえ、住宅ローンなどの「借金」にあたります。

市債の令和4年度末現在高見込み

()内は前年度数値



市民1人当たり42.3万円
(40.5万円)

※市民1人当たりの金額は、令和5年4月1日現在の人口をもとに計算しています。(構成比は端数調整しています)